



甘楽中学校の取り組み

私たちの甘楽中学校時代(令和3年度)

「コロナ禍の中で、必死で歩んだ一年でした。この一年が生徒一人一人に生きる力や身に付けさせてくれたと感じています。以前の自分たちより、より強くたくましくなってきたことを認め合いながら、来年度、より一層活躍していきましょう。皆で力を合わせ「日本一の甘楽中」を目指して！」

甘楽中学校  
校長 見友勝久  
生徒 314人



甘楽中学校ホームページ

一年を振り返って(二年生)

一年生も、だいぶ中学生らしく頼もしくなってきました。四月からは、良き先輩として活躍してくれることを期待しています。「信頼され、尊敬される先輩を目指して！」

一組 杉山侑輝

私は、この一年で人に対しての接し方や自然との関わり方を学びました。二年生になったら、今後の自分の生き方を積極的に考え、将来について真剣に向き合っていきたいと思っています。

二組 土屋穂乃花

この一年で私が学んだことは「思いやり」です。ある日、私が落ち込んだとき、友達がお手紙をくれて、励ましてくれました。私も四月から二年生です。思いやりの心を大切に生きていきたいと思います。

三組 田村 悠

中学生になって、新しい教室での授業、部活動、学校行事など、いろいろなおもしろいことがありました。最初はどろどろ不安でしたが、周りの友達や先生のおかげで一年間楽しく過ごせました。二年生になっても、今の気持ちで頑張りたいです。

「立志」を迎えて(二年生)

新型コロナウイルスの影響で、「立志式」が三月十五日に延期になりました。その状況でも「逆に時間ができた」と前向きに考えている二年生、とても頼もしいです。当口、二年生らしい「元気いっぱい、笑顔いっぱい」の立志式「になることを期待しています。」

一組 斎藤創一郎 石坂 凛

私たちは「立志」を迎えて、「自分は何者になりたいか」を深く考え、今からできることを一生懸命に取り組んでいます。また、この「立志式」を良い機会とし、一人一人が、自分の意志で自分の夢に向かって頑張りたいです。

一組 浅香香優 植松春希

今私たちは、立志の誓いの発表や記念合唱の練習を日々頑張っています。二年生にとって大きな行事の「立志式」を「この一年でイチバンの思い出」にできるように二年生一丸となって、成功させます！

三組 野口ゆら 大河原 兜

「立志式」は、私たち一人一人が「志」を持ち、自立し成長していくための大切な式です。だから、両親たちに、私たちが成長した姿を見てもらえるよう、日々の生活や練習をしっかりと行っています。



普段の授業風景

提言

努力の積み重ねを



甘楽中学校 教頭 江原 孝明

ふれあいの丘の上に建つ甘楽中学校から見える山々の風景はとても美しいものです。特に西を望むと浅間山、妙義山、荒船山、稲含山…と雄大な姿が連なっています。高台だからこそ見られる景色です。生徒達は毎日この丘を目指し登校してきます。カバンを背負い自転車を押して坂を上るのは決して楽ではないと思いますが、一日一日の積み重ねが強い体、強い心成長させるのだと思います。



甘楽中から望む山並み

GIGAスクール構想により、本校でも今年度生徒全員に一台ずつタブレットPCが配られました。校舎も体育館もランチルーム(防災交流センター)も通信環境が整備され、授業でタブレットを使用できます。学習環境を整えてくださった甘楽町に感謝！です。

授業では、インターネットを利用して調べ学習を進めるのももちろん、授業支援ソフトを活用して、自分の考えを書いたり、意見を交換したり、学習した内容を発表用にまとめたりとさまざまに活用しています。生徒達は皆、器用に難無く行っています。使用経験の積み重ねがスキルアップさせるのだと思います。

コロナ禍で行事や部活動など諸活動が制限を受けています。しかし、だからこそ、生徒達には今できることに前向きに取り組む、毎日の努力を積み重ねていってくださることを期待しています。

「日本一の卒業式」に向けて(三年生)

「いよいよ」というか「ついに」というか、卒業式が近づいてきました。今、一人一人の胸にはさまざまな想いがあります。甘楽中での日々を誇りにそれぞれにそれぞれの道に歩んでほしいと願っています。



書き初め「友好の精神」

一組 松井夢翔 赤岡美紅

私たちは、卒業までの残り少ない日々を大切に過ごしています。春になれば、それぞれの道に進みます。クラス全員が集まる機会はほとんどありません。だからこそ、全員で一生心に残る思い出をたくさんつくっていきます。そして、皆で「日本一の卒業式」を作り上げたいです。

二組 中面柚月 新井央翔

中学校生活最後の年を三年二組で過ごせてよかったです。この一年がとても楽しかったので、それが終わってしまうと思うと悲しい気持ちになります。最後の晴れ舞台である卒業式を「日本一素晴らしいもの」にします！そして、春からそれぞれの道へ踏み出します。

三組 落合優希奈 花島礼雅

私たちは今、「卒業が近づいている」ことを実感しています。これは、三年間または九年間を共に過ごした仲間と別れ、それぞれの道へ歩んでいくことを意味しているため、寂しい気持ちになります。だからこそ、仲間との残り少ない時間を大切に、笑顔で卒業式を迎えられるようにしていきます。

四組 岩井唯花 齋藤充喜

未曾有の状況下、できることを探し全力で楽しむことで、充実した中学校生活を送ることができました。今まで私たちの力になってくださった先生方や家族、全ての方々への感謝の心を「日本一の卒業式」に込めます。全員が完全燃焼し、笑顔で卒業します。気合ー！



学年朝礼「ジャンケン列車」



受験期の食事についての学習